

第67回 筑波学校体育研究会・夏期研修会のご案内

初夏の風もすがすがしい季節となりました。先生方にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、昨年度の全国体力・運動能力調査におけるデータの経年変化からは、体力・運動能力がコロナ感染症以前まで回復していなかったり、場合によっては低下したりしていることが読み取れます。先生方にはデータを見るまでもなく、目の前の子どもたちの技能や体力の低下や関わりの希薄さがいまだに続いていることを実感されているのではないのでしょうか。そこで、本年度の研修会は、昨年を引き続き、身につけてほしい技能と指導法に焦点を当てることにしました。

また、今年はスケジュールや内容を一部変更し、昨年より参加人数枠を少し広げています。お近くの先生にも声をかけていただき、奮ってご参加いただければ幸いです。先生方と共に有意義な時間を過ごせることを楽しみにしています。

令和6年5月吉日

筑波学校体育研究会 会長 木下 光正
理事 一同

1. テーマ 今獲得させたい運動技能とその指導－2年次－
2. 期間 令和 6年 8月 3日(土)～ 8月 4日(日)
3. 会場 東京都文京区大塚3-29-1 筑波大学附属小学校 (地下鉄・丸の内線「茗荷谷」駅 徒歩5分)
4. 会費 8,000 円
5. 申し込み Google フォーム <https://forms.gle/X1wJQnkvpjDUiE428>
必要事項を入力後、画面に振込み口座の情報が出来ます。
そちらの振り込み先に参加費をお支払ください。
※事前申し込みは7月31日(水)までとします。
6. 定員 150 名 程度
7. 主催 筑波学校体育研究会
8. 日程 講師及び天候等の都合により内容を変更することがあります。



8:30	9:00	9:30	11:30	13:00	14:20	14:30	16:45頃
8月3日(土)	受付 開会行事 会長挨拶 事務連絡	◇授業研究 I 3年生 平川 譲 ◇研究協議	昼 休 憩	実技指導・相談室 ※いずれか選択 ◇いつでも使える レクダンス 鯉谷 美代 ◇相談室 どうやるの? コンピテンシーベースの 体育授業への転換 清水 由 教科指導を軸にした 学級づくり 夏苺 崇嗣	休 憩	実技指導 ※60分で交代して2つ選択して受講 ◇体づくり運動 山本 悟 ◇マット運動 松本 格之祐 ◇ボール運動ネット型 木下 光正	
	9:00		11:30	13:00	14:00	14:20	16:35頃
8月4日(日)	◇授業研究 II 9:00～ 5年生 齋藤 直人 ◇研究協議	古屋賞 発表	昼 休 憩	講演 日本体育大学 近藤 智靖	休 憩	実技指導 ※60分で交代して2つ選択して受講 ◇なわとび 眞榮里 耕太 ◇陸上運動 夏苺 崇嗣 ◇水泳 山崎 和人	

※下記ホームページでも掲載しています（ファイル変換の都合で日程表の時刻がずれる場合があります）。
<http://www.catv296.ne.jp/~tsukuba-taiiku/>

※実技のできる服装（服装・運動靴・室内履き）をご用意ください。

※2日目の実技 水泳 は水着、水泳キャップ、ゴーグル、タオル等をご用意ください。

※水分の提供は限りがありますので、必要な場合は各自ご用意下さい。

※問い合わせ先 筑波大学附属小学校・体育準備室 Tel&Fax 03（3946）1948（直通）

*ご参加の受付確認は入金の完了が確認できた段階となります。

*傷害保険に加入いたします。

9. お支払いについて

銀行振込

振込先情報は、Google フォーム入力後に画面に表示されます。

・払い込み手数料は参加者でご負担下さい。なお、キャンセル時の返金はいたしません。

※8月1日（木）以降は、Tel 03（3946）1948 までご連絡下さい。

※問い合わせ先 筑波大学附属小学校・体育準備室 Tel&Fax 03（3946）1948（直通）

*傷害保険に加入いたします。

10. 古屋賞投稿規定

「古屋賞」寄稿規定

- 1 本賞に寄稿できるのは、筑波学校体育研究会会員に限る。会員は、本年度を含む3年以内の夏期研修会参加者とする。ただし、寄稿論文の研究者が複数の場合には、その中の一人が会員であればよい。
- 2 寄稿論文は未発表のものに限る。寄稿内容は、原則として教科体育及び学校体育（体育的行事、教科外体育など）に関する実践研究とし、研究目的・研究方法・研究結果・結論とその根拠 等を明確にし、研究の性格によっては追試が可能ないように文章を作成する。
- 3 提出原稿は、図表や写真のコピーを含めてA4版用紙6頁以内とする。
- 4 原稿の文章は、パソコンにより作成し、図や表はそのまま印刷できるように作成し、各図表にはタイトルを付ける。
- 5 「古屋賞」受賞論文には、表彰状と些少の研究奨励金を授与する。なお、その論文は夏期研修会参加者に印刷して配布する。また、選外で顕著な努力が認められた論文に金一封を授与する。

「古屋賞」について

長く理事長を務められ、本会の中心的役割を担ってこられた古屋三郎先生が平成12年6月にご逝去されました。長年の先生のご功績に対し、「古屋賞」を設けております。

具体的には、参会される先生方から実践研究論文を募り、理事会で特に優れていると評価した論文について、些少ですが研究助成金を提供しようというものです。また、「古屋賞」受賞論文については、参加者に配布することとします。応募規定は上記の通りです。

◆投稿の方法

論文データを7月29日（月）までに下記へお送りください。

kakikennsyuukai@gmail.com